

症例報告

症例報告：1ー2歳までのマイルストーンについて

育児をされるお父さんお母さんにとって、赤ちゃんの成長は喜びとともに多くの疑問や不安を伴うものです。本記事では、月齢に混じた赤ちゃんのマイルストーンについて詳しく解説します。ベテランの保護者の方々にも参考になる内容を目指しましたので、ぜひご活用ください。

月齢に混じたマイルストーン

0歳から1歳までに習得するスキル

赤ちゃんは、五感を使って神経発達を行い社会とのコミュニケーションを取り発達していきます。2年間はお母さんとのコミュニケーションをしっかりと安心して得ていかなければならないので、沢山の愛情を注ぎ社会コミュニケーション能力を育てていく必要があります。この期間の主な特徴を下記にまとめました。

1歳までの習得について

- 音がどこから出ているのか把握できるようにする必要があります。
- 名前を呼んで反応するようになります。
- 「ばいばい」などの手を振るようになります。
- 何かを見るように指示すると反応するようになります。
- 喃語に抑揚が起きるようになります。
- 交代で話をするようになります。話したり聞いたり会話が止まれば話すようになります。
- お父さん、お母さんのことを呼ぶようになります。「ダダ」「ママ」と呼びます。
- 単語を話すようになります。
- 指さし運動をするようになります。

1ー2歳の間に習得する行動

- 大人の身振り手振りをまねるようになります。
- 指示した物を取りに行けるようになります。
- 自身の身体の部位について把握するようになります。
- 興味が沸いた物に対して指示し見せてと表現するようになります。

- 何かをみせようと物を持ってくるようになります。
- ごっこ遊びをするようになります。(社会コミュニティを覚えるようになります。)
- 新しい単語を毎週1つ覚えるようになっていきます。

2歳までに習得する内容

- 身体の大部分について把握できるようになります。
- 本の内容について指さし動作を行います。
- 1つの指示を実行できるようになります。
- 50～100言語を話せるようになります。

注意が必要な兆候

上記のような能力の獲得が遅れるような場合は、小児科への相談を検討してください。

月齢に合った成長を確認する重要性

新米の保護者にとって、赤ちゃんの成長が適切かどうか判断するのは難しいものです。しかし、成長段階に応じた適切な刺激がなければ、神経の発達が遅れる可能性があります。その結果、将来的にADHDやASD、コミュニケーション障害などのリスクが高まることもあります。

反復が「起きる」「消失」ということは、身体の統合が起こり、次の運動を獲得する準備ができたことを意味します。運動を獲得する準備が整わないまま月齢が過ぎてしまうと、適切な発達が阻害される可能性があります。そのため、赤ちゃんの成長をしっかり観察し、月齢に応じた発達が進んでいるか確認してあげることが大切です。

乳幼児期の成長は、大人になったときの健康や生活の質に大きな影響を与えます。そのため、赤ちゃんが月齢に応じたマイルストーンを達成しているかどうかを定期的に確認することが重要です。

赤堀鍼灸接骨院のアプローチ

赤堀鍼灸接骨院では、赤ちゃんの成長サポートだけでなく、家族全体の健康改善を目指した治療を提供しています。特に、自律神経の調整を通じて、健康的な身体づくりをサポートしています。

主なアプローチ

1. 個別の治療プラン 患者様一人ひとりのニーズに合わせたオーダーメイドの治療プランを提供。
2. 自律神経のバランス調整 赤ちゃんの成長に重要な神経系の調整を重視。
3. 継続的な経過観察 健康の維持には定期的なケアが不可欠です。

健康的な育児生活へのアドバイス

- 赤ちゃんの成長に必要な刺激を適切に与えましょう。
- 疑問や不安があれば、専門家に相談することをためらわないでください。
- 日常生活の中で、赤ちゃんとも目を合わせたり話しかけたりすることで、神経の発達を促します。

赤ちゃんの健やかな成長は、家族全体の幸せにもつながります。赤堀鍼灸接骨院では、専門知識と技術を活かし、赤ちゃんと保護者の皆様をサポートいたします。詳しいご相談は、お気軽にお問い合わせください。